



警告!!

コンプレッサーの破裂防止について 安全確認と適切な手順の徹底のお願い

冷凍空調機器の整備、移設や撤去の際、安全確認を怠り手順を間違えて、物的損害だけでなく人身事故になる重大な事故が発生しています。

整備、移設や撤去の際、冷媒を回収するなどの目的で、【ポンプダウン】と言われる手法が用いられる場合があります。この手法は、コンプレッサー（圧縮機）を運転し冷媒ガスを機器内に集めるもので、安全確認と適切な手順に従って行われる場合は、全く危険のない手法です。

ただし、配管に亀裂のある状態やバルブ操作を含む手順を間違えて配管を外した状態でポンプダウンを行うと大量の空気を吸い込み、そのまま圧縮機の運転を続けることで圧縮機内部の温度が上昇し、圧縮機内部にある潤滑油の発火温度以上となり、圧縮機が破裂する事故^{*}に繋がる可能性があります。非常に危険な状況を引き起こします。

まず、ポンプダウンを行える状態かを確認し、冷媒漏れのおそれがある場合は、ポンプダウンを実施せずに回収装置による冷媒回収を行うなど適切な対応をお願いします。

ポンプダウン作業は、冷凍空調機器のサービスや冷媒回収の教育を受けた者が、安全確認と適切な手順に従って行い、事故回避に努めて下さい。

※潤滑油の自然発火による爆発から【ディーゼル爆発】と呼ぶ場合もある。